



自民党豊島区議団

細川 正博

【豊島区議会レポート】 Vol. 8
～平成25年第1回定例会～



木村俊昭先生と池袋駅にて。

平成25年 4月発行

【はじめに】

東日本大震災が起きてから2年が経過しました。

改めまして、被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々に哀悼の意を表します。

謙譲の美德など我々日本人が本来持っていた価値観の大切さを改めて認識できたのは、東日本大震災後の東北の方々の行動があったからです。

海外からも称賛されたその振る舞いを見て、同じ日本人として我々は誇りに思いました。

この時感じた思いを、我々日本人は決して忘れてはいけません。

『ありがとう』の反対は『当たり前』

2回目の「3.11」を迎えた日に改めてかみしめた言葉です。

普段何気なく過ごしている日々感謝をすると共に、一日も早い被災地の復興を願います。

【平成25年第1回定例会】

2月15日（金）～3月27日（水）の会期で、第1回定例会が開かれました。

【主な議題】

- ・平成24年度豊島区補正予算第5号（補正予算額は22.54億円）
- ・平成25年度豊島区一般会計歳入歳出予算、3事業会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険）歳入歳出予算について（予算特別委員会へ付託、後述）
- ・平成24年度豊島区補正予算第6号（補正予算額は26.72億円）、平成25年度豊島区補正予算第1号（同△14.20億円）
- ・指定地域密着型サービス・介護予防サービスの基準等に関する条例（権限移譲に伴い制定）
- ・豊島区防災対策基本条例（防災対策の基本理念を定めたもの） ほか

私が所属する総務委員会へは、議案10件、請願1件、陳情1件が当初付託、会期延長後に追加の補正予算など議案4件が更に付託されました。補正予算の他、豊島区防災対策基本条例の制定など防災・災害対策関連の条例、不適正業務執行に対する訴えの提起などが主な議題。

第5号補正予算の規模は22.54億円と巨額ですが、大半が財源の振替（区の一般財源からの支出予定が、国や都からの補助金に振り替わったもの）、基金への積立金、繰越明許費などでした。

会期延長後に付託されたH24第6号補正予算、H25第1号補正予算は、(1)国の新たな補助金（元気臨時交付金、理科教育振興経費）、(2)都への返還金（不適正業務執行に関するもの。事業

者へ求償するため、訴えの提起中)、(3)国の政策決定の反映(ワクチン定期接種化など)、(4)豊島区待機児童対策緊急プラン、(5)先天性風しん症候群への緊急対策、などに対応。H25当初予算に含まれていた大規模改修経費などが(1)によりH24に前倒し計上されたことなどにより、H25第1号補正予算は減額となっています。



繰越明許費とは、予算がついた事業が工期延長等の理由で年度内に終了しない場合に、翌年度に予算を繰り越すものです。

【予算特別委員会】

第1回定例会では、次年度予算についての特別委員会が開かれます。私は今回初めて委員となりました(議員番号により年度毎に半数の議員が委員になります)。

9日間に渡る審議における質疑の全てご紹介するのは難しいので、ここでは私が取り上げた内容をいくつか載せます。(会議録では全ての質疑が公開されます)

なお、平成25年度の決算は、賛成多数により認定されました。

※豊島区議会HP (<http://www.city.toshima.lg.jp/kugikai/>)のTOP頁左下の「会議録検索」にて会議録、「インターネット議会中継」にて質疑の動画をご覧いただけます。

◇3/1 議会費・総務費

▼防災対策について

・帰宅困難者対策の取り組み、防災対策基本条例について、SNS活用について、まちかど消火栓の配備についてなど。



▼WiFiスポットについて



・無線環境整備の見解及び現状について。
新庁舎でのWiFiスポットの整備について。
→新庁舎移転後は、全キャリア向けのWiFiスポットを考えている。

◇3/4 福祉費・衛生費

▼食育について

・意義、目的などの確認。食育推進プランに基づき、部署を跨いだ対応をすべき。
→部署間の連携の検討という答弁あり。

▼被保護者自立支援事業

・自立支援の事業内容、豊島区の先進的な事例の確認。就労支援後のアフターフォローについて。職場への定着状況などの把握が必要。

▼保育園の民営化について

・区立保育園の民営化の予定の確認。
・西巣鴨第二保育園の引継の方向性、保護者、行政、事業者の3者間での協議の強化を要望。

▼人と動物の共生事業(地域猫)

・地域猫活動の意義、これまでの取り組み、具体的な事業内容の確認。責任を持って地域猫の世話をしているにもかかわらず活動が誤解されることがある。周辺理解が得られるよう広報活動の充実を要望。

▼歯と口腔の健康づくり推進条例について

・条例の意義、あぜりあ歯科診療所の意義、条例後の具体的な施策の確認など。



◇3/5 清掃環境費・土木費・都市整備費

▼PM2.5について

- ・国や他の自治体での対策の確認。都、豊島区での測定の体制の確認。
- 豊島区での独自測定はないが、東京都の数値は特に問題ない水準。今後も注視。
- ・仮に数値が高くなった場合の対応について。
- 大気の問題なので対応が難しい。(光化学スモッグのように)数値が高い時は外出を控える等。

◇3/7 文化商工費・教育費

▼ハイパーQUについて

- ・ハイパーQUは何を測るものか？
- 従来のQUの学級満足度・学校生活意欲、にソーシャルスキル尺度を追加。
- ・導入の背景は？
- いじめ問題が発端。本来はいじめ対応のテストではないが、客観的なデータを得るため。
- ・いじめは対処療法が必要なのは当然だがそれだけでは解決しない。客観的なデータを持つとともに、心の教育も並行しないと効果が薄れると思うが、見解は？
- 豊かな人間関係が大切。指摘の通り。
- ・人権が大事なのは当然だが、人権ばかりが前面に出すぎると権利のみの主張に陥りやすい。権利意識が強くなる一方で義務や公共の福祉の観点が薄れているのではないか。教育の観点でも重要だと思うが見解は？
- 権利には義務、自由には責任、表裏一体のものである。

▼食育について



- ・学校教育における食育の位置づけ、これまでの成果。
- ・食育推進プランは全年代で進める部署横断的な目標を掲げているが、全体での共有ができていない。他部署との連携を図っていくべき。
- 今後、区長部局との連携もしていく。

▼ゲストティーチャーへの報償費について

- ・自由度が高くて工夫し甲斐がある制度と聞いている。しかし年間の予算が少ないために制約がある。せめて前の水準に戻すような検討はできないか？→教育研究校の経費、スクールスタッフの経費、校内研究の経費の自由度を増して活用しやすくしている。

▼秋田県能代市との教育連携、子どもスキップ等との連携

- ・秋田県では子供達の学習習慣の確立がなされているとのことだが背景は？
- 教師の指導力、家庭の協力の2点だと考えている。
- ・学童保育、子どもスキップ、区民ひろばなど、部署を跨いだ連携をして子供達の学習習慣の確立をすべきだが見解は？→基本的な学習習慣の確立は重要。家庭での雰囲気大事。放課後に自学自習をする習慣になるのが理想。今後の課題であり、能代市との連携の中で方策作りを検討。

▼竹岡健康学園の閉園に伴う調整事業について

- ・竹岡健康学園の果たした役割、閉園理由の確認。閉園決定後、保護者や関係者への対応。
- ・メモリアルDVDや歴史が分かるような展示などの要望もあるが、どのような対応？
- DVDなど何かしら記念になるものを作っていきたい。
- ・原籍校への復帰へ不安を抱えている子への精神面のケアは？→専門の窓口設置等で対応。

◇3/11 一般会計歳出予算 補足質疑

▼学校のICT環境の整備について

- ・校務用パソコンのネットワーク化について、現時点で進捗の見込みについて。
- ・電子データで教材等が残るのもICT化のメリット。アーカイブ化について検討すべき。

◇3/12 公債費以降、歳入、3 特別会計について

▼介護予防について

- ・ 介護予防事業の意義、事業内容について。
 - ・ 豊島区高齢者クラブ連合会（区高連）での体力測定について。
 - ・ 介護予防を進める上では運動機能の評価をし、運動機能を保つための指導に繋げる必要。区としても区高連のやっている体力測定の事業は進めるべき。
- 専門家の活用を含め、区高連への働きかけも考えたい。（実現する方向で調整中です）

◇3/14 全部の補足質疑

▼伝統工芸_後継者育成について

- ・ 伝統工芸振興を図る意義、伝統工芸を取り巻く現状について、どのように認識しているのか？
- 伝統工芸士が持つ技術と伝統を後世へ伝承していくため、区も重要と認識。後継者の育成、事業の継続の支援が必要。
- ・ 自民党から後継者育成について予算要望をしているが、この点についてどう考えているのか？
- 現在は販路拡大などの支援が中心。後継者育成も課題なので他自治体の事例を含めて検討する。

豊島区伝統工芸展で展示された作品



3月14日（水）、毎年恒例となっている自民党豊島総支部「春のつどい」をホテルメトロポリタンにて挙行了しました。

第1部は菅義偉内閣官房長官をお迎えしての記念講演、第2部は懇親会でした。当日は沢山の来場者の方にお越しいただき、自民党への期待を強く感じた次第です。ご協力くださった皆様、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



【編集後記】

いわゆる「アベノミクス」への期待により、過度な円高が是正され、株価はリーマンショック前の水準以上に回復。また、業績が改善している企業には賃上げをして欲しいとの政府の考えに理解を示したローソンやニトリ、自動車業界などの民間企業が、従業員への配分を厚くしました。日銀も黒田総裁が「異次元の政策」を打ち出し、ようやくデフレ脱却への道のりが見えてきました。まずは景気回復を確かなものとして、日本を覆う閉塞感を打破し、もう一度坂の上の雲を目指すような明るい未来への展望を開きたいと思えます。その為にも、6月の都議会議員選挙、7月の参議院議員選挙は非常に大きな意味を持ちます。日頃からの皆様のお支えを力に、精一杯活動をしていく所存です。

※月1回程度、活動報告のメールマガジンを作成しています。ご希望の方はメールや電話でお問い合わせ下さい。

子供達の世代へ責任ある政治を！！

発行責任者：細川 正博

住 所：〒170-0005

東京都豊島区南大塚 1-51-17

TEL/FAX：03-3945-2530

e-mail：info@hosokawamasahiro.jp

公式サイト：<http://www.hosokawamasahiro.jp/>

Twitter：[@toshimahosokawa](https://twitter.com/toshimahosokawa)

Facebook：<http://www.facebook.com/hosokawamasahiro>

※ご意見、ご感想、ご要望をお寄せ下さい。